

琵琶湖博物館30周年記念事業について

びわ博30年「あい」があふれるミュージアムへ

—琵琶湖と人 これまでも これからも—

(令和8年1月～令和9年3月)

○これまで実施した行事

- 1 トピック展示「琵琶湖博物館30周年記念 生物多様性びわ湖ネットワーク
トンボ100大作戦～滋賀のトンボを救え！～」
期日：令和8年2月3日(火)～3月1日(日)
概要：滋賀県内企業4社の「生物多様性びわ湖ネットワーク（BBN）」によるトンボ
をテーマにした保全活動の様子を分かりやすく展示
- 2 ナイトミュージアム
期日：令和8年3月8日(日)
概要：展示室の特別照明やクラシックコンサート、近江の地酒の試飲など夜ならで
はの博物館を演出して開催。3,801名の参加。
- 3 プレミアムナイトツアー
期日：令和8年3月20日(金・祝)
概要：展示室の特別照明や近江の地酒の試飲、学芸員による展示解説によるナイト
ミュージアムとナイトクルーズ、宿泊をセットとしたツアーを実施。
- 4 ギャラリー展：民俗学者橋本鉄男がみた近江
期間：令和8年3月17日(火)～5月24日(日)
概要：滋賀県を代表する民俗学者である橋本鉄男（1917～1996）が当館に寄贈され
た資料を展示し、その人生と業績を紹介したギャラリー展示を開催。

○開催中の行事

- 1 30周年記念企画展示、第34回企画展示
「博物館はタイムマシンー魚類学者がみた琵琶湖ー」
期間：令和8年7月18日(土)～11月23日(月・祝)
概要：○世界各地で大切に保管されている過去200年にわたる琵琶湖の魚類等の標本
を通して、琵琶湖の環境と魚類相の変遷を紹介。
○シーボルトが持ち帰った200年前の滋賀県産トキの標本や上皇陛下が寄贈さ
れた琵琶湖産魚類標本の初めての里帰り展示。
○現在の琵琶湖を見直し、未来の琵琶湖と人とのよりよい関係を考えるきっ
かけとなることを期待して開催する。
- 2 水族企画展示「シーボルトの江戸参府と日本の淡水魚」
期間：令和8年7月18日(土)～11月23日(月・祝)
概要：企画展示と連携し、シーボルトが収集しオランダの魚類学者によって新種と
して記載された淡水魚の生体を展示する。「シーボルトの絵師」として知ら
れる川原慶賀の精密画やタイプ標本の写真も展示。

○今後の行事予定

1 30周年記念式典

期日：令和8年10月24日(土)

概要：○琵琶湖博物館の設立からこれまでの歩みを振り返り、30年間、地域の方々に支えられて、びわ博が成長できたことへの感謝を伝える。
○博物館設立の背景や30年間の活動成果を振り返り後世に伝える30周年記念誌と、これまでのびわ博との思い出やエピソードをお寄せいただいた文集「(仮)私とびわ博」を制作する。

2 国際シンポジウム「シーボルト江戸参府200周年記念 シーボルトコレクションから学ぶ水辺環境の未来のために“記録”を残すこと」

期日：令和8年10月24日(土)

概要：オランダで大切に保存されてきた200年前のシーボルトコレクションを通じて、未来の琵琶湖と人との関わりを考える上で大切な、標本や記録を残すことの意義を伝えるシンポジウム。国内の他オランダの博物館から2名招待し講演。

3 びわ博フェス

期日：令和8年11月14日(土)、15日(日)

概要：○地域で活動する団体・企業の皆様がびわ博に一堂に会し、ワークショップ、ステージ発表、ポスター発表などを通じ、それぞれの活動で得た知見を相互に分かち合う出会い、学び合いの場。
○中学生・高校生等の子ども・若者が、自身の研究成果を発表し、他の学生や研究者等と意見交換し、交流を深める場として「びわ博子ども若者研究発表交流会」も開催。

4 DC連携特別ミュージアムツアー：学芸員解説付き特別ツアー

期日：令和8年10月22日(木)：湖底遺跡ツアー、11月：プランクトン観察ツアー

概要：湖底遺跡やプランクトン観察をテーマに学芸員による解説を行う特別ツアーを実施する。

5 DC連携特別ミュージアムツアー：ナイトミュージアムツアー

期日：令和8年12月18日(金)、19日(土)、20日(日)予定

概要：特別照明等によるナイトミュージアムを核としたバスツアーを実施予定。

6 ギャラリー展第二弾「(仮)発見をめぐる資料の物語展」

期日：令和9年1月～3月予定

概要：地域の方々や研究者から寄贈された資料や、地域や企業の方々の研究調査で得られた資料をめぐる物語を通して、その発見や新知見を紹介する。

7 30周年記念セミナー「(仮)琵琶湖の森と人間と」

期日：令和9年2月予定

概要：琵琶湖の源となる山地を舞台として、森林の成り立ちや変化、森にすむ生き物とそれを利用してきた人々暮らしや歴史、そして今を知ることで、これからの森を考える機会とする。次年度企画展示のプレイベント。

8 水鳥水槽リニューアル

期日：令和9年3月予定

概要：県鳥でもあるカイツブリの生態とその生息環境であるヨシ帯を、より野外の現場に近い状態で紹介するための改修を行う。

9 琵琶湖博物館研究調査報告発行

期日：令和9年3月予定

概要：博物館で行ってきた研究のうち、総合研究「過去150年間の琵琶湖とその集水域の環境変遷の解明」など、2冊の研究調査報告を発行予定。